



安曇野屋敷林 サポーター通信

発行日/2024年8月20日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド担当 ☎0263-71-2053

<http://keikan-azumino.net>

第43号

■令和6年度 総会

本年度の総会は、5月13日（月）に行われました。

イベントとしては、10月の環境フェア屋敷林見学会、10月信州歴史的まちなみネットワークin諏訪への参加、11月23日屋敷林落ち葉拾いボランティア

来年2月23日（日）屋敷林フォーラム2025の開催となりました。

断続的な研究として、民家と屋敷林を再考して重要建造物や重要樹木のリストアップを3年かけて行うことになりました。

また役員の変更がありました。

- ・リーダー 場々洋介（留任）
- ・サブリーダー 横田 耕太郎（新任）
- ・会計 等々力秀和（留任）
- ・会計監査 中沢倫明（留任）

となりました。

プロジェクトメンバーも増やす計画です。

サポーターの方も是非メンバーとして、一緒に活動しませんか！

（場）



■重柳の屋敷林と民家を案内

令和6年8月2日（金）、日本建築家協会長野クラブの36名に、重柳の屋敷林と民家の案内をしました。長野クラブは、全県で60ほどのメンバーを有しています。まず、憩いの池で全体説明をしました。プロジェクトについては場々が、重柳の説明は等々力さんが、そして屋敷林については宗像さんがしてくれました。

建築の専門家への説明は大変でしたが、重柳八幡宮の千渡石のこと、轟家の立派さ、そして飯島の奥さんは実家の隣に暮らしていますが、内部を見せてくれた。飯島さんの夫は上田で建築士として働いて、数年前ここへ移住されました。

100坪もある大住宅を掃除していただき、みなさんも当時の住宅の姿を感じとれました。皆さん感心する一方、今後の維持管理の大変さを感じるものでした。

3日（土）有志で曾根家住宅（重要文化財）も観たいとのことで、11名で文化課の山下さんのご案内で見学をさせていただきます。曾根原住宅17世紀中ごろの民家で、県内では最も古く、本棟造りの原型と言われている。屋根葺材がサワラからスギに変更になったそうで、平成30年の屋根耐震改修が1.1億円かかったと。所有明の負担も3.75%とのことでした。（場）

